

2016 年 7 月 4 日

NTT コミュニケーションズグループの人材育成制度が 情報処理学会の「認定情報技術者制度 企業認定」を取得 ～グループ内 4,000 名が認定情報技術者に認定～

NTT コミュニケーションズ(略称：NTT Com)は、2016 年 6 月 30 日、人材育成制度「プロフェッショナル人材育成プログラム」について、一般社団法人情報処理学会より「認定情報技術者(CITP)企業認定」を取得しました。



「CITP 制度」とは、経済産業省が定める IT スキル標準^{*1}のレベル 4 以上の IT 人材（サービス開発や運用、販売を担う技術者やメーカー、営業など）を対象に、所定のレベルに相当する能力を有すると情報処理学会が判定した人材を「認定情報技術者」として認証する制度です。

また「CITP 企業認定」は、上記の IT 人材の資格審査や認定を企業が実行できると情報処理学会が認証する制度です。本認定の取得企業では、社内資格を有する人材が、情報処理学会より「認定情報技術者」の認定証の発行を受けることができます。NTT Com グループでは約 4,000 人^{*2}が対象となります。

NTT Com グループは、事業推進のために求められる業務経験・スキルレベルを定義し、各社員が高度な専門性を備えたプロフェッショナル人材になるための育成制度として、2007 年度に「プロフェッショナル人材育成プログラム」の運用を開始し、新しい事業分野に適応したプログラムに進化させてきました。本制度に基づいて各社員が実務経験を積みながら専門性の向上に取り組んでいる点や、資格制度として「認定情報技術者制度」と同等の適正な運営状況などが認められ、この度「企業認定」を取得するに至りました。

NTT Com グループは今後も世界中のお客さまから選ばれる ICT パートナーとなることを目指し、セキュリティや IoT をはじめとした新しい分野に必要な専門性を備えたプロフェッショナル人材の育成を強化していきます。

^{*1}: IT スキル標準：経済産業省が定めた IT 人材に求められるスキルやキャリア（職業）を示した指標。（現在は維持管理を独立行政法人情報処理推進機構に移管）

^{*2}: 2016 年 6 月末現在